

むさしNet

(発行)

*働きやすい職場をめざす

(連絡先) ルネサス武蔵の会

*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男

*電話・FAX ; 042-394-0937

*メール; musashinet@jcom.home.ne.jp

*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

営業利益は2.4倍の505億円

ルネサスが10月29日発表した2014年4～9月期連結決算は、下表の様な結果となった。合理化に伴う生産絞り込みが減収要因となったが、自動車エンジン制御などに使う半導体の販売好調で補った。最終損益が351億円の黒字(前年同期は128億円の赤字)となり、これまで実施した希望退職や工場統廃合などの効果が出たほか、リストラ損失が77億円(同253億円)と一巡し、上期の最終黒字は10年ぶりとなる。

決算月	12年9月	13年9月	14年9月
連結売上	4,094	4,169	4,169
営業損益	-233	207	505
(%)	赤字	5.0	12.1
純資産	779	2,221	2,486
自己資本比率	10.0	26.2	27.9
DEレシオ	2.46倍	1.38倍	1.15倍
キャッシュ	-340	285	258

(上記はフリーキャッシュフロー)

さらさらに3000人の人減らしが必要か？
ルネサスの連結人員数は有価証券報告書で明かになっています。NECエレクトロニクスとの経営統合時は、約4万8000人と言われていました。下表は、決算期で公表された連結人員であり、毎年の様に数千人

決算期	人員数	減数
2011年3月	46,630	-
2012年3月	42,800	3,830
2013年3月	33,840	8,960
2014年3月	27,201	6,639
10月1日現在	24,216	2,985

人権無視の早期退職面談
現在行われている早期退職面談は、人権無視した内容で会社の意向に沿えないものは自主退職を迫られたり、新人事処遇制度でゼロ査定が行われている、との訴えが寄せられています。

2014年下期では、3000人規模の人減らしが計画され、12人規模の人員削減が進められて来

安心して働き、生活でぎきる。職場実現を！

月10日～19日の早期退職募集期間に約1800人を目標として「面談」が実施されています。

現在の職場実態から、これ以上の人員削減は正常な業務が行えるのかの疑問が出されています。

人権無視の早期退職面談は許せない

今回の早期退職の対象になっていない若い世代からは、これから30歳40歳と勤務していく中で先が見えず、ある年齢までいったらリストラが確実に待っている様に見える。「会社のために」と言う気持ちで沸いてこない。と言う深刻な実態も寄せられています。

アンケート葉書で意見を寄せて！

全国の電機職場に共通した「15年春闘、生活改善アンケート」を取り組んでいます。

厚生労働省が11月5日発表した9月の毎月勤労統計調査によると、物価の変動を反映した賃金水準を示す実質賃金指数は、15ヶ月連続して前年割れとなっています。

職場から「安心して生活をす

12月の一時金で大幅格差

12月の一時金は要求満額の3ヶ月を回答しましたが、配分において11段階の評価で最低の「評価ゼロ」と最高の「評価10」では、専任5級の8倍を除く他の職群では11倍となっています。総合職1級の例では、最低が25万1000円に対して最高が276万3000円の11倍となっています。

困ったこと、心配ごと
何でも相談は、
電機・情報ユニオンへ
電話；03-6450-1777

止めたい」との意見が届いています。全国のルネサスの事業所にルネサスのリストラに反撃する「全国ビラ」を配布しています。ご意見を寄せて下さい。

職場だより

子育て女性に広域配転 ルネサス強要を告発

日本共産党の小池晃議員は21日の参院厚生労働委員会で、半導体大手・ルネサスエレクトロニクスが来年春までに5400人のリストラを進めるため、退職強要と遠隔地配転を強行している実態を告発しました。

小池氏は、ルネサス武蔵事業所（東京都小平市）に勤務する子育て中の女性（50代・正社員）2人が、繰り返し退職強要の面談を受け、10月から片道2時間

半かかる高崎事業所（群馬県高崎市）への配転を指示された事例について、育児介護休業法の趣旨に反するとして政府による調査・指導を求めました。

同法26条は、事業者が労働者を転勤させる場合、本人の育児・介護の状況に「配慮しなければならぬ」としています。女性2人の申告を受け東京労働局雇用均等室が事情を聞いた翌々日に、ルネサス側は「差し控えるべき指導はなかった」として「解雇予告通知」を出し、解雇が配転かの二者択一を迫りました。

小池氏は、「（労働局は）事情を聴いただけで、配慮をさせ

たと言えるのか」と追及。厚労省の安藤よし子雇用均等・児童家庭局長は「（同法は）配置の変更をしないことを求めるものではない」と述べ、ルネサスのような事例への対応について答弁を避けました。

(A)

高崎事業所で宣伝行動

10月24日（金）ルネサス高崎事業所で退勤時宣伝行い、今までと同様の受け取りでした。

(B)

日本ビルで宣伝行動

10月31日（金）ルネサス本社事業所の中に入っている日本ビル前の2ヶ所で早朝宣伝行い、今までの宣伝で最高の受け取りとなりました。

(C)



絵手紙でご挨拶



寒さ身にしみ
あわてて

休憩室

◆「総選挙風」

政権の思惑で動く
国民生活を守る政治に

◆「川内原発の再稼働」

事故後に大丈夫か？
やむを得ないですむの？

◆「日中の外交」

首脳のぎこちない握手
諸課題の解決に向けて

◆「地球温暖化」

このまま放置は
経済的にも大損失に

編集後記

最近のルネサスの経営実績は、大規模な人減らしリストラで「営業利益率が二桁」を実現し、表面的に見ると年末一時金は3ヶ月回答となりました。ところが、人減らしはさらに3000人を実施するとして制限の無い退職強要面談が行われて、職場から不満の声が届いて止める為にも勇気ある告発が何より重要になっています。

(T)

いつか武蔵に帰れる日を夢見て

こちらは那珂事業所です。変革プランにともなう再編成で、上期に数百名が那珂に異動しました。

武蔵事業所からも多数が異動していますが、ほとんどの方が単身赴任です。現場から見て何のメリットがあるのか今でも不明な那珂への異動。きっと転勤によってたくさんの従業員を退職に追い込んで、人件費を浮かせ、目先の利益をねん出するのが目的に違いないと思っています。そんな”暴君”のような経営者も、変革プランが終わる17年3月末でいなくなるはず。そうすれば、また経営がまともになって、再び武蔵事業所で仕事ができる日が来るのではないか。そんな希望を胸に、家族と離れ離れの寂しい日々を耐えしのいでいます。 (投稿)